

科目名	英語講読Ⅲ(看護専門英語) English Reading Ⅲ		担当教員 (研究室番号)	ドライデン いづみ (502)		教員への連絡方法 (メールアドレス)						
履修年次	2年次 前期	科目 区分	教養・基礎科目		選択 区分	選択	単位数 (時間)	1(30)	授業 形態	演習	科目等 履修生	可
科目 目的	グローバルな視野から看護について考察するために、フローレンス・ナイチンゲールの著書『看護覚え書』(Notes on Nursing: What It Is, and What It Is Not)の原文内容分析と英語看護月刊誌American Journal of Nursingに掲載の英語論文・記事の精読・要約に取り組み、海外の看護師事情を把握し、国際社会において1人の人間として、或いはプロの看護師・医療従事者としての在り方、及び患者への対応方法を様々な視点からの確に判断できるようになる。											
ディプロマ・ポリシー (DP)	主要なDP	C 多様な考え方や文化的背景を持つ人々の特徴に応じて、自らの看護活動の必要性や方法を説明するためのコミュニケーション能力を有している。(技能・表現)										
	関連するDP	A 人々の生命・尊厳・権利を尊重し、看護専門職者としての倫理観に基づいて行動することができる。(姿勢・態度) B 人々の生活に根ざした看護を実践するための幅広い教養と専門的知識を有している。(知識・理解)										
到達目標	1. 英語著書・論文・記事の内容理解とともに、英語文法知識・語彙力を身に付け、国際社会において自らの考えやイメージを英語で説明することができる。 2. 医療分野の英語用語(看護師や医療従事者が使用する言葉・フレーズ)と日常で使用する英語用語(言葉・フレーズ)や、章・パラグラフごとに英文内容を精読・要約・考察し、グループ討議で英語で発表することができる。 3. 各英語著書・論文・記事の内容に言及して例を挙げて自らの意見を英語で述べることができ、各内容を論理的に考察することができる。											
成績評価方法 (基準)	グループ・ディスカッションでの発表(30%) 各回の授業課題提出(60%) レポート課題(10%) ※レポート課題については、ルーブリックを用いて評価する。											
再試験の有無と 基準等	・無: 毎回のグループ・ディスカッションでの発表や、各回の授業課題、およびレポート課題によって評価するため、再試験は不可能。											
教科書	各回の授業で資料を配布する。											
参考書等	授業中に適宜紹介する。											
学生の主体性を伸ばす ための教育方法と 学生への期待	医療英語の力(聞く・読む・話す・書く力)や英文読解のための医療専門用語を習得しながら、国際社会において看護師・医療従事者の在るべき姿・医療の在るべき形・問題点を英文資料・文献の内容とともに考察する。また、チーム基盤型学習(TBL: Team Based Learning)を取り入れ授業を進めるので、チームのメンバーとして責任を持って積極的に自らの意見を発言し、グループ・ディスカッションや毎回の課題に取り組みこむこと。											
備考	英文の読解力向上のため、多読(特に英語論文)を推奨する。課外学習として、図書館や担当教員研究室に設置の英語書籍(レベル別も有)、もしくは授業で紹介するウェブサイトやデータベースに掲載の英語書籍・論文・記事を読み、英語で感想文を記述・提出すると、エキストラ・ポイントとして成績評価に加算する(論文数・冊数制限無し)。詳細は1回目授業にて説明する。											
回	学習項目	学習内容							主担当 教員	授業 方法		
1回	イントロダクション	授業の進め方、教科書、出欠席の扱い、成績評価に関する説明をする。チーム(グループ)を決め、チーム・ワーク(グループ・ディスカッション)の方法を説明する。「備考」欄に記載した課外学習についても説明する。配布資料の説明及び視聴覚教材の紹介をする。							ドライ デン	講義 演習		
2回	Notes on Nursing: What It Is, and What It Is Not by Florence Nightingale: I. Ventilation and Warming American Journal of Nursing: Article 1	フローレンス・ナイチンゲールの著書『看護覚え書』の第1章を読み、換気と保温の重要性について現代の状況と比較しながら考察する。チーム・メンバーと協力し、各パラグラフごとに英文を要約する。英語看護月刊誌の記事1を読み、国際社会において看護師・医療従事者の役割や医療の進歩について考察する。							ドライ デン	講義 演習		
3回	Notes on Nursing: What It Is, and What It Is Not by Florence Nightingale: II. Health Of Houses American Journal of Nursing: Article 2	フローレンス・ナイチンゲールの著書『看護覚え書』の第2章を読み、住居の健康について現代の状況と比較しながら考察する。チーム・メンバーと協力し、各パラグラフごとに英文を要約する。英語看護月刊誌の記事2を読み、国際社会において看護師・医療従事者の役割や医療の進歩について考察する。							ドライ デン	講義 演習		
4回	Notes on Nursing: What It Is, and What It Is Not by Florence Nightingale: III. Petty Management American Journal of Nursing: Article 3	フローレンス・ナイチンゲールの著書『看護覚え書』の第3章を読み、小管理の重要性について現代の状況と比較しながら考察する。チーム・メンバーと協力し、各パラグラフごとに英文を要約する。英語看護月刊誌の記事3を読み、国際社会において看護師・医療従事者の役割や医療の進歩について考察する。							ドライ デン	講義 演習		
5回	Notes on Nursing: What It Is, and What It Is Not by Florence Nightingale: IV. Noise American Journal of Nursing: Article 4	フローレンス・ナイチンゲールの著書『看護覚え書』の第4章を読み、注意すべき音について現代の状況と比較しながら考察する。チーム・メンバーと協力し、各パラグラフごとに英文を要約する。英語看護月刊誌の記事4を読み、国際社会において看護師・医療従事者の役割や医療の進歩について考察する。							ドライ デン	講義 演習		
6回	Notes on Nursing: What It Is, and What It Is Not by Florence Nightingale: V. Variety American Journal of Nursing: Article 5	フローレンス・ナイチンゲールの著書『看護覚え書』の第5章を読み、変化の必要性と効果について現代の状況と比較しながら考察する。チーム・メンバーと協力し、各パラグラフごとに英文を要約する。英語看護月刊誌の記事5を読み、国際社会において看護師・医療従事者の役割や医療の進歩について考察する。							ドライ デン	講義 演習		
7回	Notes on Nursing: What It Is, and What It Is Not by Florence Nightingale: VI. Taking Food American Journal of Nursing: Article 6	フローレンス・ナイチンゲールの著書『看護覚え書』の第6章を読み、食事について現代の状況と比較しながら考察する。チーム・メンバーと協力し、各パラグラフごとに英文を要約する。英語看護月刊誌の記事6を読み、国際社会において看護師・医療従事者の役割や医療の進歩について考察する。							ドライ デン	講義 演習		
8回	Notes on Nursing: What It Is, and What It Is Not by Florence Nightingale: VII. What Food? American Journal of Nursing: Article 7	フローレンス・ナイチンゲールの著書『看護覚え書』の第7章を読み、食物に関する重要事項や胃への影響について現代の状況と比較しながら考察する。チーム・メンバーと協力し、各パラグラフごとに英文を要約する。英語看護月刊誌の記事7を読み、国際社会において看護師・医療従事者の役割や医療の進歩について考察する。							ドライ デン	講義 演習		

9回	<i>Notes on Nursing: What It Is, and What It Is Not</i> by Florence Nightingale: VIII. Bed And Bedding <i>American Journal of Nursing</i> : Article 8	フローレンス・ナイチンゲールの著書『看護覚え書』の第8章を読み、ベッドと睡眠について現代の状況と比較しながら考察する。チーム・メンバーと協力し、各パラグラフごとに英文を要約する。英語看護月刊誌の記事8を読み、国際社会において看護師・医療従事者の役割や医療の進歩について考察する。	ドライデン	講義演習
10回	<i>Notes on Nursing: What It Is, and What It Is Not</i> by Florence Nightingale: IX. Light <i>American Journal of Nursing</i> : Article 9	フローレンス・ナイチンゲールの著書『看護覚え書』の第9章を読み、陽光と健康について現代の状況と比較しながら考察する。チーム・メンバーと協力し、各パラグラフごとに英文を要約する。英語看護月刊誌の記事9を読み、国際社会において看護師・医療従事者の役割や医療の進歩について考察する。	ドライデン	講義演習
11回	<i>Notes on Nursing: What It Is, and What It Is Not</i> by Florence Nightingale: X. Cleanliness Of Rooms And Walls <i>American Journal of Nursing</i> : Article 10	フローレンス・ナイチンゲールの著書『看護覚え書』の第10章を読み、病室衛生について現代の状況と比較しながら考察する。チーム・メンバーと協力し、各パラグラフごとに英文を要約する。英語看護月刊誌の記事10を読み、国際社会において看護師・医療従事者の役割や医療の進歩について考察する。	ドライデン	講義演習
12回	<i>Notes on Nursing: What It Is, and What It Is Not</i> by Florence Nightingale: XI. Personal Cleanliness <i>American Journal of Nursing</i> : Article 11	フローレンス・ナイチンゲールの著書『看護覚え書』の第11章を読み、身体の清潔について現代の状況と比較しながら考察する。チーム・メンバーと協力し、各パラグラフごとに英文を要約する。英語看護月刊誌の記事11を読み、国際社会において看護師・医療従事者の役割や医療の進歩について考察する。	ドライデン	講義演習
13回	<i>Notes on Nursing: What It Is, and What It Is Not</i> by Florence Nightingale: XII. Chattering Hopes And Advices <i>American Journal of Nursing</i> : Article 12	フローレンス・ナイチンゲールの著書『看護覚え書』の第12章を読み、おせっかいな励ましや忠告について現代の状況と比較しながら考察する。チーム・メンバーと協力し、各パラグラフごとに英文を要約する。英語看護月刊誌の記事12を読み、国際社会において看護師・医療従事者の役割や医療の進歩について考察する。	ドライデン	講義演習
14回	<i>Notes on Nursing: What It Is, and What It Is Not</i> by Florence Nightingale: XIII. Observation Of The Sick <i>American Journal of Nursing</i> : Article 13	フローレンス・ナイチンゲールの著書『看護覚え書』の第13章を読み、病人の観察について現代の状況と比較しながら考察する。チーム・メンバーと協力し、各パラグラフごとに英文を要約する。英語看護月刊誌の記事13を読み、国際社会において看護師・医療従事者の役割や医療の進歩について考察する。	ドライデン	講義演習
15回	<i>Notes on Nursing: What It Is, and What It Is Not</i> by Florence Nightingale: Conclusion <i>American Journal of Nursing</i> : Article 14	フローレンス・ナイチンゲールの著書『看護覚え書』の結論を読み、『看護覚え書』の執筆目的や看護師とはどう在るべきかについて現代の状況と比較しながら考察する。チーム・メンバーと協力し、各パラグラフごとに英文を要約する。英語看護月刊誌の記事14を読み、国際社会において看護師・医療従事者の役割や医療の進歩について考察する。フローレンス・ナイチンゲールの愛読書や好んだ音楽家・音楽作品も紹介する。レポート課題の説明をする。	ドライデン	講義演習

学 習 課 題

1 回目事前課題：フローレンス・ナイチンゲールについてその時点で知っていることをメモしておく。
 1 回目事後課題：配布資料に目を通し、授業内容の確認をしておく。
 2～15 回目事前課題：前週の授業で学んだ内容を思い出しながら配布資料にメモをしまとめておく。
 2～15 回目事後課題：配布資料から学んだことやチーム・メンバーとグループで要約した内容を思い出し、自らの意見や考えを次週の授業までにTeamsの「課題」に提出する（各回30～40点）。尚、15回目及びレポート課題（配点100点）は、Teamsの「課題」に設定された期日までに提出する。

実務経験を活かした教育の取組

--